

青い鳥

第76号
令和7年吉日

社会福祉法人 青い鳥
日本平学園
日本平ホーム
日本平ハイツ

〒422-8004
静岡市駿河区国吉田6丁目7番24号
TEL (054) 265-3534
FAX (054) 265-3540
メールアドレス aotori@lilac.ocn.ne.jp

祝入園



入園式

令和七年四月二十二日(火)、日本平学園にて入園式を実施し、新たな仲間、ゴードン翔太トーマスさんが加わりました。入園式ではご両親、通訳の鈴木様にご出席いただき、普段慣れないスーツを着て、緊張されていたように感じました。しかし、在園利用者の方々の温かく、盛大な拍手、沢山の声を掛けて貰うと、ほっとした表情が観られていたのが印象的でした。式においては当法人理事長、施設長、保護者会々々長、職員、在園利用者出席のもと、温かい励ましのお言葉をいただき、日本平学園の一員としての身が引き締まったようです。

現在では、本来の翔太さん持ち前の明るくフレンドリーさを十分に発揮され、日本平学園で輪の中心的存在になりつつあります。

これからより一層、日本平学園で活躍できるように、家族と連携を取りながら支援をさせていただきます。



令和7年6月23日より、新しい理事長・理事・評議員が就任いたしましたのでご紹介いたします。

新理事長の挨拶

此度、瀬戸脇前理事長の後任と致しまして、任に就く落合功です。長い年月信頼を築きあげてきた日本平学園の基本方針「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、続けられる様 地域生活支援を推し進める」を、ますます発展させ、最も重要な透明性と信頼性の有る運営で、職員一人ひとりが利用者の皆様に寄り添い安心できる環境を提し、地域との連携を強化して共に手を携えていければと思います。

微力ですが、その活動が明るい社会福祉の未来を築ける様全力でサポートしていきます。

落合 功

新理事の紹介

伊藤 大介

新評議員の紹介

芝 知美 (前理事)
山田 誠

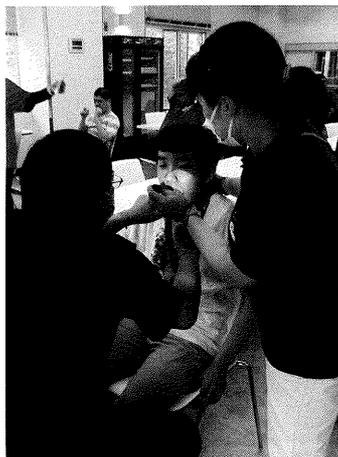
理事長を務めてくださった瀬戸脇正勝様、評議員を務めてくださった古川宗孝様が退任されました。長い間当法人のためご尽力いただきまして、ありがとうございました。

想いを引き継いで、これからも当法人の発展と地域との連携を大切に、職員一同取り組んでまいります。

歯科健診を 実施しました！

令和七年九月三日(水)に静岡市の歯科保健活動事業として静岡市静岡歯科医師会の歯科検診を実施いたしました。今年も三十六名の利用者が受診し、虫歯や歯周病、歯ぐきの様子や歯の汚れ、歯石が付いているかをチェックしていただきました。

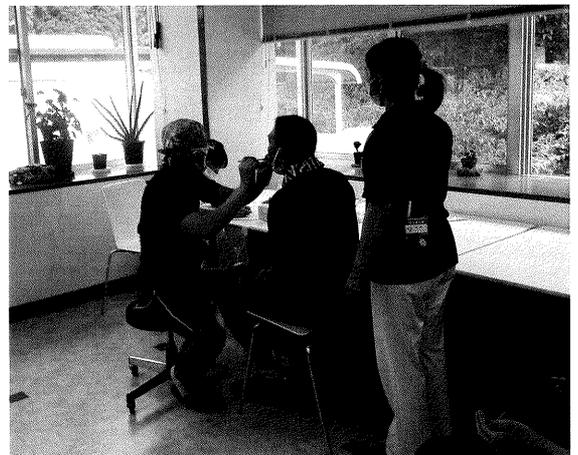
担当していただいた歯科の先生や衛生士さんの絶妙な声掛けや支援員の協力により、普段は医師の診察などを怖がる利用者も健診を嫌がったり、怖がったりする事もなく受診出来ました。



また、担当した歯科の先生からはひとりひとりと総合的に判定していただき、歯科治療の必要の有無だけでなく、わずかではありましたが、歯磨きが不十分と判定された方もみられ、その方達には家庭での歯磨きについてのアドバイスなどをしていただきました。

今回の歯科健診の総評として、担当の歯科の先生が、夜の歯磨きが歯の健康にとって一番重要とおっしゃっていました。

治療が必要と判定された方はもちろん、治療なしと判定された方も、正しい歯磨き習慣と定期的な歯科健診で、健康な歯を保つことによって、美味しいものを美味しく食べられる楽しい食生活を続けてほしいと願っています。

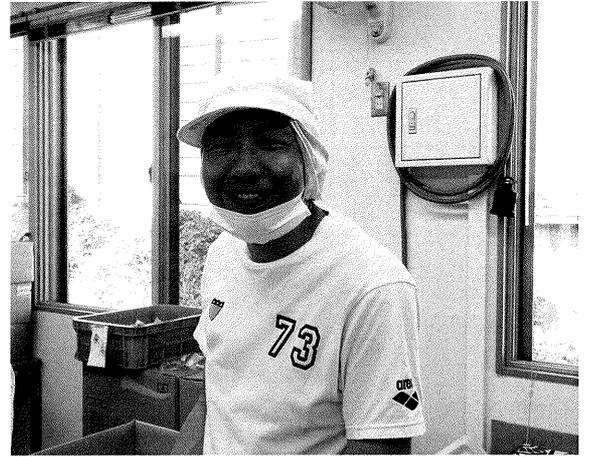
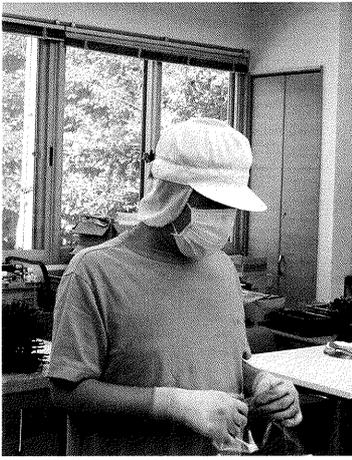


受託作業のご紹介

現在、日本平学園では企業様からご依頼をいただき、プラモデルや部品の袋入れ、新聞折り、封書入れ、ねじ・ワッシャー取り付け、ワイヤーハーネス・ゴム取り付け、草刈り等、様々な作業を行っています。

就労支援班（就労継続支援B型）は作業意欲の向上や工賃を得て社会参加や自立に繋げる為、また生活支援班は心身の健康維持、向上、生活の充実の為、それぞれの利用者の方に合った得意な作業を中心に取り組んでいます。

得意な作業では、目にも止まらぬほどのスピードで製品を仕上げている方や作業スピードはゆっくりでもとても丁寧に仕上げる方、最後まで諦めずに取り組む方、ちよつとふらふらお出かけしてしまう方など、皆さんご自分のペースで、時には職員



からの後押しを受けながら協力し合い作業を進めていきます。

また、これまで難しいと感じて避けていた細かい作業、工程の多い作業や苦手な作業にも挑戦し、職員と一緒にやり方のコツを見つけて少しずつ出来る作業を増やしていき自信がつかうことで、新しい作業への意欲が更に高まっている利用者の方も多くいます。

作業がうまく出来できた時や終了時には「終わったよー」「できましたー！」「がんばりました!!」など笑顔で伝えてくださる利用者の方たちがこれからも生き生きと学園生活を送れるように活動していきます。
引き続き、企業様のご協力をいただきながら、新しい作業にも前向きに取り組んでいきたいと思えます。

実習生を受け入れています

「今日からお世話になります。よろしくお願ひします。」と、ほんどの方が見知らぬ世界に飛び込んだような不安そうな表情で挨拶をし、現場実習が始まります。

日本平学園では、保育士の資格取得に必要な「保育実習」を希望する大学等の学生を実習生として受け入れています。

具体的な目的は「児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解する」とされており、毎日、目標を持って臨み、学んだことを細部にわたり記録に残します。時には疑問や質問が投げかけられて、私たち職員も日頃の支援について改めて考えたり、振り返る機会にもなります。おおよそ二週間の実習期間が終わる時には、実習の目的は達成できたのだろうか、ここでの経験が将来の社会人生活の中で少しでも役立つことがあるだろうかと考えます。



また、障害者福祉への理解が深まり進路先として選択肢にしていたただく事も期待をしています。私たちも支援に関する学びを深め、実りある実習をしていただけるよう努力をし、これからも実習生の受け入れをさせていただきます。

後日談

先日実習が終わった学生さんが、最後の実習日誌に「利用者さんに感謝したい」と感想があり、大変感激しました。



受託作業の製品の一部です

いちご狩り

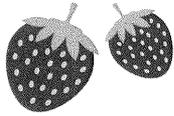
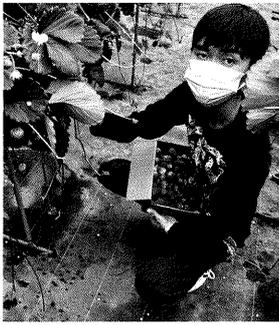
令和七年六月十一日、静岡市葵区にあります、鈴木農園様のご協力のもと、利用者の方、保護者の方、そして職員でいちご狩りに出かけました。利用者の方は、全員参加は出来ませんでした。行けなかった利用者の方から「沢山採ってきてね！」と応援を受け出かけました。

当日は天気にも恵まれましたが気温が高く、こまめに水分補給を行いながらいちご狩りに挑戦しました。

いざ、始まるとビニールハウスの内は外よりも温度が高く、大変な状況下の利用者様、協力してくださった保護者の方、職員と汗をかきながら沢山いちごを採ろうと必死に取り組みました。

「これ食べるかな?」「まだ、赤くないかな?」などお話をしながら約三十分いちご狩りをしました。

協力していただいた鈴木農園様、保護者の皆さまには感謝しかありません。本当にありがとうございました。



地域連携推進会議を実施しました!!

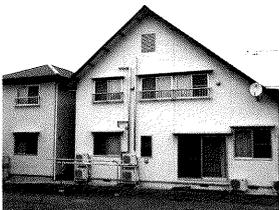
近年の障害福祉サービス事業所の増加により、支援の質の確保が重要な課題となっています。そこで、「居住や生活の場であり、運営が閉鎖的になるおそれのあるサービス類型については、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れることが、事業運営の透明性を高め、一定の質の確保につながるものと考えられ、地域連携推進会議を導入することが有効と考えられる。」と国の指摘がありました。この令和七年度より、その実施が義務化となりましたので、当法人としては初めての試みでしたが、第一回目の地域連携推進会議を九月十日に実施しました。

この会議を実施するにあたり、その目的に沿った構成員を選出する必要があるとの事で、利用者、利用者家族、地域の関係者、福祉に知見のある人、経営に知見のある人等が必要との事でした。まず地域の関係者に声を掛けて、地域の民生委員や児童委員さんを選出いただきました。また福祉や経営に知見のある人については、日本平学園に通っている利用者が居住する、別の法人のグループホームの管理者様にお願ひし、構成員が揃いました。当法人日

本平ホームからは管理者、サービス管理責任者、現場の世話人が参加し、準備を整えました。

当日は、日本平ホームの中を約三十分程かけて見学していただきました。グループホーム内部の状況、日常生活の様子、食事のメニューなども観ていただき、利用者の生活像をイメージしていただきました。

その後日本平ホーム内のリビングに集まり、地域連携推進会議を実施、約一時間程の話し合いが行われました。地域の方より、「施設の前は何回も通りますが、中でどんな事が行われているか、知らなかったです。」や「恵まれた環境の中、障がいをお持ちの方が必要な支援を受けて生活しているという事を実感出来ました。」などの話しがされました。ご家族からは「実際の様子が今回詳しくわかりました。」との感想をいただき、利用者からは「デザートが欲しいです。」との要望も受け、充実した会議だったと感じました。今後の生活に反映していくよう努めて参ります。



たくさんのご寄附をありがとうございます

- 杉山正二様
- 長島妙子様
- 竹田信江様
- 瀬戸脇正勝様
- 鈴木秀直様
- 中川透様
- 山本浩一様
- 山本良子様
- 吉永きく江様
- 鈴木恵子様
- 川崎照美様
- 株式会社みおつくし様
- フラワー薬局様
- 静岡県保険医協会様

(順不同)

編集後記

長かった夏もようやく終わり、短い秋が訪れています。
今年の夏も猛暑で熱中症予防が重要でしたが、これからは感染症予防の季節となります。

一度体調を崩すと、健康で居られることの有難さを実感しますよね。毎日笑顔で利用者様と学園で会えるよう、今後も引き続き感染症予防に努めます。